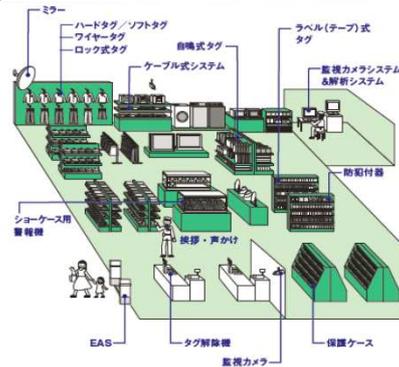


2017年3月7日(火)12:40~13:10

## JEAS新活動宣言後の新ソリューション提案 と法的対応



**JEAS** 日本万引防止システム協会

1

### 本日の内容

はじめに「新活動宣言 発出」のご説明

1. 不明ロス・万引対策のための店舗診断

理事・総務委員 米山 英志

2. EAS & 顔認証と警備のコラボ

会員 (株)三宅 タグ事業部 課長 三宅陽一郎

3. 「防犯カメラや画像認識システムの安全利

用のお勧め」の配布

事務局 稲本 義範

**JEAS** 日本万引防止システム協会

## 平成28年6月2日：日本万引防止システム協会の新活動宣言を发出

わが国の刑法犯認知件数がここ10年で半減する中で、万引犯罪の減少傾向は弱く全刑法犯認知件数の10.7%を占めるに至った。その特性として、高齢者の犯罪が少年を上回る社会的問題化や組織的万引で高額被害事案が増加するなど、万引犯罪の複雑化、悪質化が目立ってきている。

お客様の目的は万引防止システムを購入することでは無い。お客様が求めているのは「お店の不明ロスを限りなく減少させること」であり、「安全・安心・快適な環境のお店を作ること」なのだ。その目的を達成するための手段として法令に適ったシステムを購入されている。その期待にお応えするためにも当協会は現在の犯罪情勢、犯罪特性にマッチした新しい万引防止システムやサービスの開発、そしてその運用支援に力を注ぐべく、関係者の結束力を高めたい。

今後の重点施策として、未然防止や不審者発見のトリガーとしてのEAS機器導入による不明ロスの削減効果の向上、犯罪行為の再発防止につながる防犯画像技術などの新技術との連携効果で、万引をさせない、見逃さない、確かな防犯環境作りに邁進したい。そのためには、小売業経営者様との情報交換の活発化、さらにはシステムを扱う従業員や警備員などの関係の皆様への緊密なサポートが必須である。

さらには対策情報の共有化、情報漏洩などのリスク最小化の継続的な取組みにて、いま推定値4,615億円といわれる全国の万引被害総額を減少させたい。日本万引防止システム協会は、万引犯罪撲滅を目指す唯一のソリューション団体として、「万引犯罪をさせないお店作り」の推進を通じた地域社会の安全・安心の維持・向上こそ、「犯罪のない社会の実現」につながるとの信念の基、所轄官庁はじめ関連諸団体のご支援をいただきながら活動することを、ここに宣言する。

**JEAS** 日本万引防止システム協会

## テーマ 1

# 不明ロス・万引対策のための店舗診断

理事・総務委員  
米山 英志

エイジスリテイルサポート研究所株式会社  
取締役 企画部長

**JEAS** 日本万引防止システム協会

## ロスプリベンションという考え方

### 継続的にロスを最小化し利益の拡大を図る

Loss Preventionを直訳すると「損失防止」

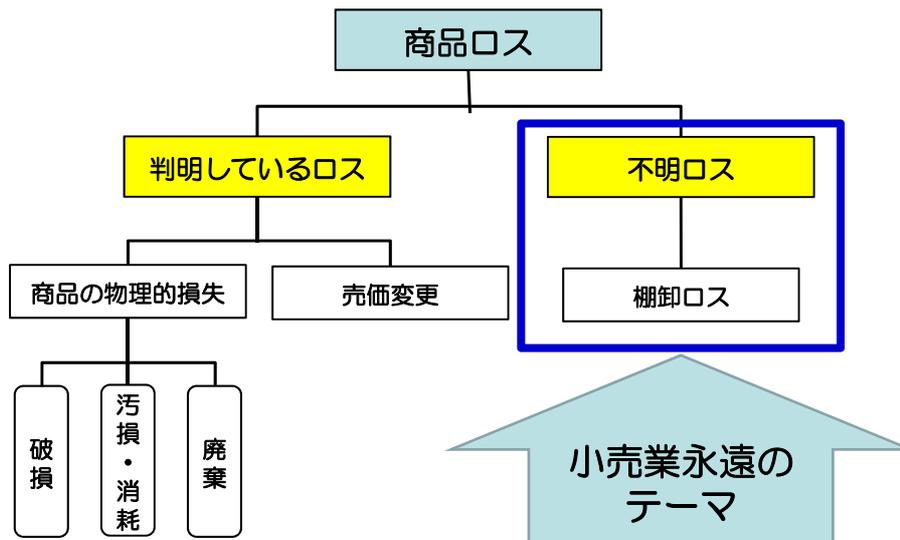
欧米の小売業では約30年前から実績を上げているリスクマネジメントの手法

基本的な考え方としては4点

①予防する②プロセス重視③一定にする④費用対効果

	従来の商品ロス対策	ロスプリベンション
目的	商品ロスをなくす	ロスを最小化⇒利益の最大化
前提	商品ロスは異常値	商品ロスは必然
原因	万引きによる外部ロス	業務プロセス全般+万引き
対象領域	一部門	経営課題
対策	限定的、場渡り的で無計画	日常的な継続性
アクション	問題の発生後	事前の予防、前始末
コスト	増大させるも効果低い	効率性を追求

## 商品ロスとは



# なぜ、商品ロス削減が必要か

ロス率=期首から期末までの売上に対する損失のパーセンテージ

## 小売業の環境

厳しい経済状況

厳しい競争環境

- 長らく続く経済不況により、消費者の支出は厳しいままである
- オムニチャネル等消費者の利便性は向上しているが、企業の営業コストは増大
- 厳しい競争環境のために、商品の粗利益率は低く抑えられている。

インバウンドによる爆買需要も沈黙化

商品ロス管理の失敗は生産性と競争力に影響し最終利益に直結する

商品ロスを減らす方が売上を上げるよりも簡単

# 不明ロスが発生する原因

## 内部窃盗

- 個人の倫理観
- 個人的状況と仲間との共謀
- 隙のある店舗マネジメント
- 従業員への教育不足

## 外部窃盗

- 万引き
- 強盗
- 住居侵入窃盗
- 詐欺

不明ロスの発生

## 取引先の不正

- 運用上の問題
- 配送業者の不正
- メーカー・ベンダーの不正

## 管理上の誤り

- 事務処理上の諸問題
- 商品の取り扱い
- 不適切な保管
- 不適切な取扱作業
- 店舗オペレーションの諸問題

## 万引きを防止するためのツール

商品保護	EAS（電子商品監視システム）
	チェーンケーブル・セキュリティタグ
	空箱陳列
	鍵のかかるショーケース
監視	防犯カメラ
	私服保安員
	私服保安員による遠隔監視
	制服警備員
目による抑止	万引き防止の標識・POP
最新技術	顔認証システム

ツールよりも効果的なのは従業員によるお客様への声掛け

**JEAS** 日本万引防止システム協会

9

## JEASが提供する店舗診断

商品名	ミステリーショッピング	店舗診断
調査形式	覆面による抜き打ち調査	非覆面で監査形式の調査
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗毎、個人毎の接客レベルの現状を把握</li> <li>ストアコンディションの把握</li> <li>本部マニュアルや基準の改訂</li> <li>従業員意識改革</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗毎、個人毎のオペレーション遂行度の把握</li> <li>ストアコンディションの把握</li> <li>本部マニュアルの遵守状況の把握</li> </ul>
調査時間	一般の買物客の平均滞在時間と同レベル	決められた調査項目が終了するまで長時間調査可能
調査箇所	店頭、買物客が立入可能な場所のみ	バックヤードや事務所を含めた店舗従業員が立入可能な場所
調査員	契約している主婦等の調査員	常用雇用している従業員
不明ロス抑止効果	売場すれ違い時のアイコンタクトと笑顔での声掛けの徹底 ⇒万引き抑止効果	売場やバックヤードの整理整頓、防犯意識や防犯機器の活用状況⇒従業員に対する防犯教育と不正の抑止

**JEAS** 日本万引防止システム協会

10

## テーマ 2

# EAS & 顔認証と警備のコラボ

株式会社三宅  
セキュリティ東日本営業部2課  
三宅陽一郎

**JEAS** 日本万引防止システム協会

## ■従来の防犯システム

従来防犯システムは、保安警備、防犯カメラ、EAS（防犯ゲート等）が一体化した運用が難しい事が課題でした。

保安警備

警備員個々の  
スキルによる

防犯カメラ

事後確認が  
メイン

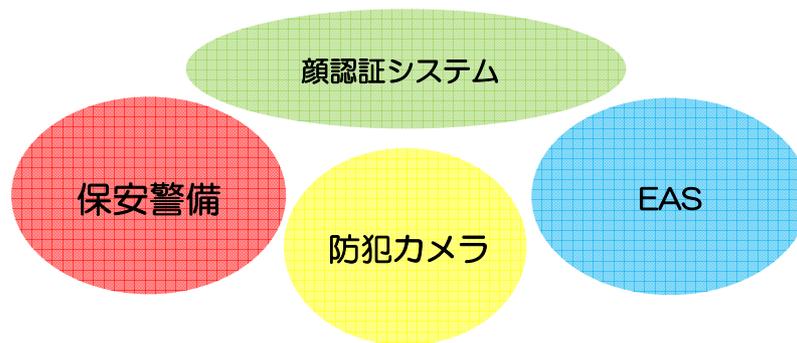
EAS

発報後の対応に  
課題

**JEAS** 日本万引防止システム協会

## ■顔認証と各セキュリティシステムの融合

顔認証システム、保安警備、EAS（防犯ゲート等）、防犯カメラ、保安警備、を融合することにより、より高度な防犯システムを実現できます。



**JEAS** 日本万引防止システム協会

## ■顔認証システムとは

- 顔認証システムとは画像認識技術による顔認証機能を備え、効果的な店舗運営を行う為のシステムです。
- これまでできなかった対応や対策が可能となり、利益率や経営効率、セキュリティなど、様々な面で大きな効果や価値を生み出します。

**JEAS** 日本万引防止システム協会

## ■ 保安警備

現在の保安警備 店内監視⇒不審者発見⇒追跡  
⇒犯行確認⇒捕捉

顔認証システム 保安警備員との連携⇒効率的な警戒体制への移行

従来

万引者の **捕捉** が主要な業務  
・ 店内監視 → 不審者発見 → 現行犯捕捉

新警備

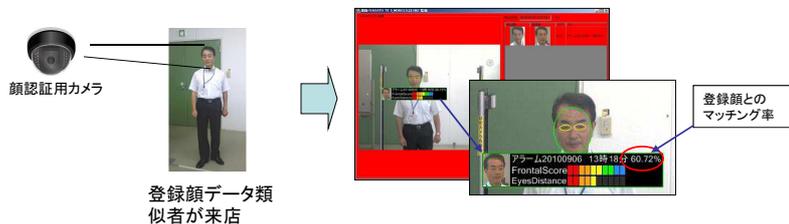
万引ロス削減（予防）のPDCAが主要業務

- ・ 効果的な万引抑止対策
- ・ **ロス削減目標 → 達成 → 新たな削減目標へ**

**JEAS** 日本万引防止システム協会

## ■ システム運用の概要

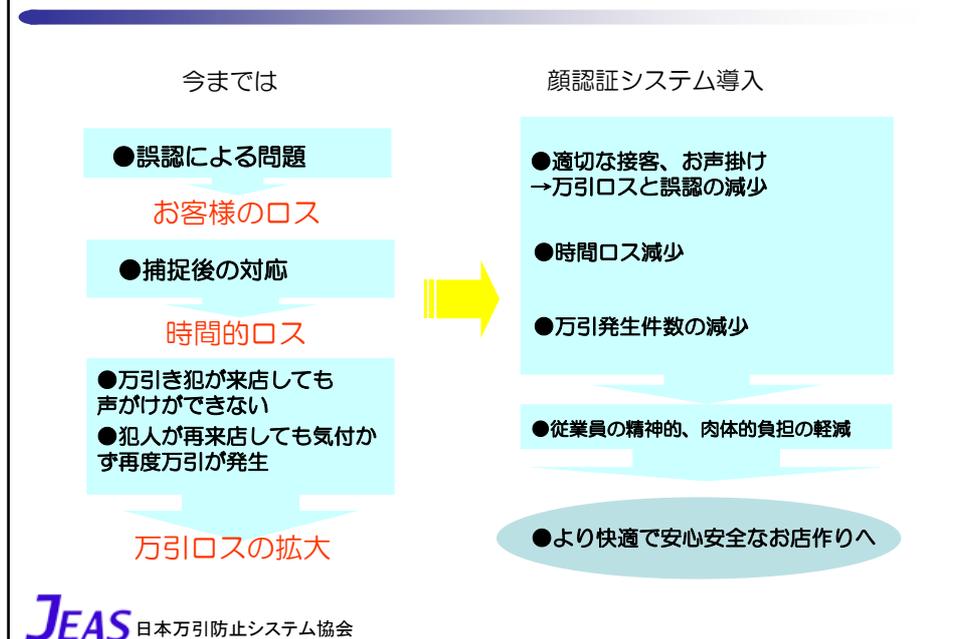
1. 登録済み顔データに類似した人物が来店
2. 監視カメラで撮影された人物が、登録済みデータと類似顔かどうかをシステムが判断し、モニタ上に通知がポップアップされます。



3. 保安員、店員様に通知。  
⇒お声掛け等で万引行為を未然に防ぎます。
4. データが不要と判断できる場合は、適宜削除します。

**JEAS** 日本万引防止システム協会

## ■従来と顔認証システム導入後との違い



## ■運用上の留意点

- ・防犯カメラ管理規定を定める
- ・個人情報保護、情報漏洩防止に通じた管理者を配置する
- ・カメラの設置は設置場所内の安全管理及び盗難防止に関して使用し、記録を残す場合もこの目的のみに使用を限定する
- ・店頭、店内、ホームページ上での告知を行う
- ・登録者＝犯人では無いという前提に立つ
- ・システムに登録した後、一定期間を経過してもシステムの対象とならないデータを削除する

## テーマ 3

# 「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め」の配布

事務局  
稲本 義範

**JEAS** 日本万引防止システム協会

## セキュリティ産業新聞平成28年12月10日号

### 映像の活用へ冊子を制作 「防犯カメラや画像認識 システムの安全利用のお勧め」

#### 日本万引防止システム協会

日本万引防止システム協会（東京都新宿区、戸田秀雄会長、TEL03・3355・2322、以下JEAS）は、冊子として「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め」と「防犯データ安全利用推進のための責任者用チェックリスト」を制作。JEAS会員各社は、ユーザ向けの配布を12月1日から開始した。

窃盗団対策や常習万引者などへの対策として、高画質化が進む防犯カメラの設置や顔認識システムの普及が加速している。だが、関係方面からは、従来型のCCTVのための管理規定では、管理面や情報利用の範囲に

十分な可能性がある」と危惧されていた。



今回の冊子は、こうした指摘を踏まえた形で、JEAS防犯データ安全利用推進委員会が協議を重ねて制作した。記録映像に関しては、プライバシー保護と個人データの活用を如何に両立させるのかという課題がある。冊子の内容は、販売者側の安全対策上の責務を遂行する対応例の1つとして注目される。

その他、日本実務出版ニュース・セキュリティナビ 平成28年12月12日号で「販売者側としての安全対策上の責務をまっとうする一つの対応例」として紹介されました。

**JEAS** 日本万引防止システム協会